令和６年１１月２９日
宮　　内　　庁

令和６年度補正予算（第１号）（案）について

『国民の安心・安全の確保』「防災・減災及び国土強靭化の推進」関係

陵墓地等防災整備　　約２５４百万円（皇室費）

１．事業目的

陵墓地等の皇室関連施設には、私有地に面しているものが多く、参道、塀及び設備の老朽化が原因で、近年頻発している地震や台風等の自然災害により、近隣に被害を及ぼす恐れがある。そのため、早急に対策の必要な陵墓地等の皇室関連施設の防災整備を行う。

２．事業内容

・豊島岡（としまがおか）墓地受変電設備改修　　約８８百万円

豊島岡墓地は、区の緊急避難場所に指定されている。同墓地の受変電設備は、設置から３０年近くが経過し、経年劣化が進んでいるため緊急時に備え早急に改修する。

・桃山陵墓地参道防災整備　　約７２百万円

雨水排水管が老朽化等により閉塞し、大雨時には参道の雨水が砂利を巻き込んで隣接する公道へ流出している。集中豪雨が頻発する昨今の状況に鑑み、早急に整備する。

・慶光（きょうこう）天皇陵以下１陵１５墓防災整備　　約２１百万円

境界沿いのブロック塀は、現行の建築基準法に必要な控え壁※の間隔に適合しておらず、地震や台風による倒壊の恐れがあるため、早急に整備する。

※壁を安定させるために、壁に対して直角に取り付けられた補助的な壁。現行の建築基準法では控え壁同士の間隔を 3.4 メートル以下にする必要がある。

・桂離宮外構 囲障（いしょう）整備　　約７３百万円

離宮南側の塀は、設置から６０年以上が経過し、亀裂や鉄筋の露出が進行している。当該塀は、市の歩道に面しているため、早急に整備する。